

学校だより



川西市立多田小学校

9月号 平成30年8月29日

学校HP：<http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

昨年より3日短い夏休みが終わりました。今年は「命にかかわる危険な暑さ」のため、楽しみにしていたプール開放が中止になりましたが、大きな事故もなくみんな元気に登校してくれたこと何よりもうれしく思っています。子どもたちの安全確保にご協力いただいたPTAや補導員の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

子どもたちはコミュニティ主催のラジオ体操やサマーフェスティバル、そして福祉なかよし食事会や多田子ども教室などにたくさん参加し、ふだんできない経験をし、新たな気づきや発見など楽しい思い出をたくさんつくったことでしょう。コミュニティのみなさまをはじめ、お世話くださいました皆様には心より感謝申し上げます。

2学期には音楽会、校外学習、修学旅行など、子どもたちが楽しみにしている行事がたくさんあります。ご参観いただき、子どもたちの成長の様子を見て、温かい励ましの声をかけていただければ幸いです。

目標は大事ですよ

さあ、今日から2学期が始まりました。1学期で身に付けた学習面や生活面での力をさらにステップアップさせる時です。みなさんは、これからどんな学校生活を送ろうと思っていますか。目標は決まっていますか？目標を作ることは大変大事なことです。多田小学校にも「よく考える子・なかよくする子・がんばりぬく子」という目標があります。すぐできてしまう目標やとてもできない目標は目標ではありません。自分でよく考え、家族の人と相談して決めましょう。自分の目標を持ち、それがかなうように一人ひとりが努力していくことが大切なのです。

三つの考え

みなさんは、次の三つのうち、どれに近い考えを持っておられるでしょうか。

- 人間は善を行うべき道徳的本性を持って生まれてくる。だから、よい心が悪くならないようによい行いをほめてどんどんするようにし、悪いことはしないようにきちんとしつけるべきだ。[性善説：孟子]
- 人間は利己的欲望を持って生まれてくる。だから悪い行いをやめさせるために、よい行いを示して、悪い心がだんだんよい心になるように教えなければならない。[性悪説：荀子]
- 人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だからよいことと悪いことの区別がつくように教え、よいことは進んでするようにし、悪いことはやらないように教え諭していかなければならない。[白紙説：ロック]

これらに共通することは「よいことと悪いことをきちんと教えること、よいことをしたらほめ、悪いことをしたらそれは悪いことと教え、しないようにすること」です。

そのためには、大人が、事実をしっかりと見つめ、判断し、自信を持って毅然と、「自分のすべきことを怠ること」や「友達の邪魔をすること」「嫌なことや迷惑になること」は、「やめる」ことをきちんと教え込む必要があります。その子の将来にとって、また子どもの集団や社会にとっても好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきたいと思えます。ご家庭においても、ご協力をよろしくお願いいたします。

～夏休みあれこれ～

ラジオ体操

8月20日～26日、朝早くからたくさん子どもたちが元気な顔を見せてくれました。コミュニティやPTAのみなさんありがとうございました。



サマーフェスティバル

いろんなお店や出し物、盆踊りなど、楽しい企画がいっぱいです。夏休み最後の土曜日の夜、子どもたちに楽しい思い出をありがとうございました。



川西市子ども議会

6年生の柿木山さんと5年生の永井野さんが参加してくれました。2人とも発言する姿は堂々としており、頼もしい限りでした。



季節の移り変わり

日本では、古来から旧暦9月を長月(ながつき)と呼び、新暦9月の別名としても用いています。

長月の由来は「夜長月(よながつき)」の略であるとする説が最も有力ですが、他に「稻刈月(いねかりづき)」が「ねかづき」となり「ながつき」となったという説や「稻熟月(いねあがりづき)」が略されたという説があります。いずれにしても我が国の主食である稲の成長と大いに関係があります。

こう考えてみると、私たちの毎日の生活が四季の移り変わりに伴って営まれていることがわかります。四季のある我が国の良さを子どもたちに十分に味わってほしいものです。

日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。